



令和5年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

令和5年11月10日

上場会社名 株式会社 トーア紡コーポレーション

上場取引所 東

コード番号 3204 URL <https://www.toabo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長井 渡

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理部長 兼 事業管理部長 (氏名) 竹川 宗一郎

TEL 06-7178-1158

四半期報告書提出予定日 令和5年11月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 令和5年12月期第3四半期の連結業績(令和5年1月1日～令和5年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
5年12月期第3四半期	13,909	10.5	489	24.5	561	32.2	305	44.1
4年12月期第3四半期	12,589	11.4	393	39.9	425	40.3	211	49.8

(注) 包括利益 5年12月期第3四半期 807百万円 (42.7%) 4年12月期第3四半期 565百万円 (28.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
5年12月期第3四半期	34.21	
4年12月期第3四半期	23.74	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
5年12月期第3四半期	36,809	12,456	33.8	1,395.76
4年12月期	32,911	11,746	35.7	1,316.22

(参考) 自己資本 5年12月期第3四半期 12,447百万円 4年12月期 11,738百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
4年12月期		0.00		11.00	11.00
5年12月期		0.00			
5年12月期(予想)				12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和5年12月期の連結業績予想(令和5年1月1日～令和5年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,500	8.8	600	16.2	660	24.9	300	11.5	33.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	5年12月期3Q	8,940,448 株	4年12月期	8,940,448 株
期末自己株式数	5年12月期3Q	22,610 株	4年12月期	22,342 株
期中平均株式数(四半期累計)	5年12月期3Q	8,918,026 株	4年12月期3Q	8,918,203 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、資料の発表日現在における将来の経済環境予想等の前提に基づいて作成されたものであり、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(会計方針の変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	9
(収益認識関係)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、令和5年5月に新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが2類から5類へ変更され、社会経済活動は正常化に向けて動き出したことから、景気は緩やかな回復傾向にあります。一方で、世界的なインフレ圧力下での主要各国の金融引締めによる景気の後退懸念や物価高騰による消費者の節約志向の高まりなど先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは市場ニーズを先取りする高付加価値・高品質商品を提供する「暮らしと社会の明日を紡ぐ企業」として、競争力の強化と収益性の向上に取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は13,909百万円（前年同期比10.5%増）、営業利益は489百万円（前年同期比24.5%増）、経常利益は561百万円（前年同期比32.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は305百万円（前年同期比44.1%増）となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

[衣料事業]

衣料事業は、各種繊維を原料とする衣料用素材の製造・販売および制服の縫製加工、ニット製品の製造・販売を行っております。

コロナ禍からの経済活動の正常化に伴い、各部門とも順調に推移しております。

毛糸部門は、堅調に推移し増収となりましたが、残暑の影響で追加受注に若干の陰りがでてきております。

ユニフォーム部門のスクール制服向け素材は、業界全体としての生産平準化の流れの中で、発注の前倒しが定着、増収となりました。

官公庁制服向けは調達量増加により増収、一般企業向け制服素材は別注案件の獲得もあり、増収となりました。

テキスタイル部門は、需要回復の影響を受け、受注が好調、増収となりました。

毛糸製造販売を主体とする中国現地法人は、日本市場向けの受注回復により増収となりました。

この結果、売上高5,389百万円（前年同期比22.6%増）、営業利益310百万円（前年同期比118.0%増）となりました。

[インテリア産業資材事業]

インテリア産業資材事業は、自動車用内装材、住宅建材・排水処理資材・土木資材・緑化資材などさまざまな用途の産業用資材、インテリア関連製品、オレフィン系短繊維の製造および販売を行っております。

国内においては、新型コロナウイルスの影響が収まり、自動車産業は昨年後半より半導体不足も緩和され増産体制に入りました。

ポリプロファイバー部門は、自動車内装材用原綿も自動車販売数に合わせて増産、カーペット用原綿は展示会、イベント需要が増え増収となりましたが、電力、燃料等光熱費負担が増えました。

カーペット部門は、ホテル、オフィス、一般資材、ダストコントロール用途等すべての需要が戻り、原材料、燃料、副資材の値上の価格転嫁も進み増収増益となりました。

特殊繊維部門は、カーボン繊維が好調で増産体制に入りましたが、金属繊維がふるわず減収となりました。

自動車内装材部門は、半導体不足が落ち着き受注した商品の自動車生産台数も増え、原材料及びエネルギー代高騰の価格転嫁をできたことで増収増益となりました。

不織布部門は、土木、寝装、防草、緑化のすべてが順調に推移しましたが、急激な原材料、燃料、資材の値上がりを受け増収減益となりました。

自動車内装材製造販売の中国現地法人は、日系自動車会社が、EV車を生産する中国ローカル企業にシェアを奪われ生産が落ち込んでいる影響で、減産しておりましたが、中国ローカルEV車向けの受注を獲得できたことにより増収となりました。しかし、コスト改善が必要となっており効率的な生産方法を検討しております。

この結果、インテリア産業資材事業は、売上高5,421百万円（前年同期比20.3%増）、営業利益157百万円（前年同期比557.4%増）となりました。

[エレクトロニクス事業]

エレクトロニクス事業は、半導体・電子機器の製造および販売を行っております。

主力の電動工具向けコントローラーは、電動工具の売上は回復基調にありますが、得意先での在庫調整が続いており、本格的な受注回復は年末までかかる見込みです。

電子部品の販売においても、半導体製造装置用途にまとまった受注がありましたが、全体的に得意先は、在庫過多の状況で販売は低迷しております。

この結果、売上高1,145百万円（前年同期比38.5%減）、営業損失20百万円（前年同期は営業利益70百万円）となりました。

[ファインケミカル事業]

ファインケミカル事業は、ヘルスケア関連薬品、電子材料用および工業用薬品の製造および販売を行っております。

電子材料分野では、スマートフォンやパソコン向け機能性材料が世界的な在庫調整の影響で受注が低迷し減収となりました。ヘルスケア分野もジェネリック医薬品向けの受注が大きく落ち込み減収となりました。

この結果、売上高843百万円（前年同期比9.7%減）、営業利益31百万円（前年同期比66.2%減）となりました。

[不動産事業]

不動産事業は、主に郊外型ショッピングセンター・ロードサイド店舗・オフィスビルの賃貸などを行っております。

一部のテナント撤退の影響を受けましたが、前年並みの売上となりました。しかしながら、販売費の増加により減益となりました。

この結果、売上高679百万円（前年同期比0.9%増）、営業利益395百万円（前年同期比3.1%減）となりました。

[その他]

その他の事業は、自動車学校の運営、ヘルスケア商品の販売、洋菓子店の運営などを行っております。

自動車教習事業は、夏休みの大学生を対象に、近隣の大学を中心に営業活動を行いました。入校数が低迷し減収となりました。

ヘルスケア事業は、化粧品、健康食品などを販売しております。

ムサシノ製菓は、主力のフタアミンクリームが、酷暑の影響で薬局への来店者が減少して売上が伸びませんでした。冬場に向けてキャンペーンを行っていくことで販売数を増やします。

なお、第2四半期会計期間よりムサシノ製菓株式会社の損益計算書を連結開始したことにより売上は増加しましたが、連結開始時における会計処理により売上原価が増加したこともあり営業損失は拡大しました。

この結果、その他の事業全体の売上高は430百万円（前年同期比96.8%増）、営業損失82百万円（前年同期は営業損失21百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比3,898百万円増加し、36,809百万円となりました。その主な要因は、電子記録債権および棚卸資産の増加によるものであります。

負債は、前連結会計年度末比3,189百万円増加し、24,353百万円となりました。その主な要因は、短期借入金および長期借入金の増加によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末比709百万円増加し、12,456百万円となりました。その主な要因は、その他有価証券評価差額金、利益剰余金および為替換算調整勘定の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和5年12月期の業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間の実績を踏まえ、令和5年2月15日に公表いたしました業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日（令和5年11月10日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和4年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和5年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,465	2,696
受取手形及び売掛金	2,190	2,380
電子記録債権	533	2,001
商品及び製品	2,261	2,584
仕掛品	725	810
原材料及び貯蔵品	1,782	2,302
その他	290	451
貸倒引当金	△18	△21
流動資産合計	10,231	13,205
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,816	1,985
機械装置及び運搬具（純額）	510	519
土地	17,051	17,143
リース資産（純額）	38	125
建設仮勘定	703	716
その他（純額）	97	101
有形固定資産合計	20,218	20,590
無形固定資産		
のれん	—	79
その他	68	70
無形固定資産合計	68	149
投資その他の資産		
投資有価証券	1,656	2,056
繰延税金資産	73	79
その他	711	780
貸倒引当金	△47	△51
投資その他の資産合計	2,392	2,864
固定資産合計	22,679	23,604
資産合計	32,911	36,809

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和4年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和5年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,580	2,206
短期借入金	5,683	7,065
未払法人税等	110	165
賞与引当金	—	131
その他	1,158	964
流動負債合計	8,533	10,533
固定負債		
長期借入金	6,565	7,557
繰延税金負債	4,389	4,542
退職給付に係る負債	1,150	1,094
長期預り敷金保証金	481	485
資産除去債務	44	44
その他	—	95
固定負債合計	12,631	13,820
負債合計	21,164	24,353
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,940	3,940
資本剰余金	3,570	3,570
利益剰余金	3,161	3,368
自己株式	△20	△20
株主資本合計	10,652	10,859
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	356	603
繰延ヘッジ損益	△40	30
為替換算調整勘定	769	953
その他の包括利益累計額合計	1,085	1,587
非支配株主持分	8	8
純資産合計	11,746	12,456
負債純資産合計	32,911	36,809

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 令和4年1月1日 至 令和4年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 令和5年1月1日 至 令和5年9月30日)
売上高	12,589	13,909
売上原価	10,223	11,292
売上総利益	2,365	2,617
販売費及び一般管理費	1,972	2,127
営業利益	393	489
営業外収益		
受取利息	14	14
受取配当金	34	33
為替差益	54	61
助成金収入	28	1
その他	21	55
営業外収益合計	153	165
営業外費用		
支払利息	61	64
持分法による投資損失	14	0
従業員休業補償費	25	—
その他	20	28
営業外費用合計	122	93
経常利益	425	561
特別利益		
固定資産売却益	0	1
投資有価証券売却益	—	5
国庫補助金	22	—
特別利益合計	22	6
特別損失		
固定資産売却損	—	0
固定資産廃棄損	1	7
固定資産圧縮損	21	6
投資有価証券売却損	—	2
投資有価証券評価損	5	—
災害による損失	7	36
減損損失	—	1
特別損失合計	36	55
税金等調整前四半期純利益	410	512
法人税、住民税及び事業税	206	243
法人税等調整額	△8	△35
法人税等合計	198	207
四半期純利益	211	305
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	211	305

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 令和4年1月1日 至 令和4年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 令和5年1月1日 至 令和5年9月30日)
四半期純利益	211	305
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	34	247
繰延ヘッジ損益	33	71
為替換算調整勘定	241	154
持分法適用会社に対する持分相当額	44	28
その他の包括利益合計	354	502
四半期包括利益	565	807
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	565	807
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(単体納税制度への移行)

当社及び一部の国内連結子会社は、第1四半期連結会計期間より、連結納税制度から単体納税制度へ移行しております。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自 令和4年1月1日 至 令和4年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	衣料事業	インテリ ア産業資 材事業	エレク トロニク ス事業	ファイン ケミカル 事業	不動産 事業	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	4,396	4,505	1,861	934	673	12,370	218	12,589	—	12,589
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	2	14	2	—	17	37	249	287	△287	—
計	4,399	4,519	1,863	934	690	12,407	468	12,876	△287	12,589
セグメント 利益又は損 失(△)	142	24	70	92	407	736	△21	715	△322	393

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントである自動車教習事業、ヘルスケア事業等が含まれております。
2. セグメント利益又は損失の調整額△322百万円には、セグメント間取引消去2百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△324百万円が含まれております。全社費用は、主にセグメントに帰属しない一般管理費等であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 令和5年1月1日 至 令和5年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	衣料事業	インテリ ア産業資 材事業	エレク トロニク ス事業	ファイン ケミカル 事業	不動産 事業	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	5,389	5,421	1,145	843	679	13,478	430	13,909	—	13,909
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	3	14	6	—	17	42	258	300	△300	—
計	5,392	5,436	1,151	843	697	13,520	689	14,210	△300	13,909
セグメント 利益又は損 失(△)	310	157	△20	31	395	873	△82	791	△301	489

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントである自動車教習事業、ヘルスケア事業等が含まれております。
2. セグメント利益又は損失の調整額△301百万円には、セグメント間取引消去2百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△304百万円が含まれております。全社費用は、主にセグメントに帰属しない一般管理費等であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

重要性が乏しいため記載を省略しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第3四半期連結累計期間 (自 令和4年1月1日 至 令和4年9月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	衣料事業	インテリア 産業資 材事業	エレク トロニク ス事業	ファイ ンケミ カル 事業	不動産 事業	計		
売上高								
顧客との契約から生じる収益	4,393	4,443	1,861	934	49	11,681	218	11,900
その他の収益	3	61	—	—	623	688	—	688
計	4,396	4,505	1,861	934	673	12,370	218	12,589

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車教習事業、ヘルスケア事業等が含まれております。

当第3四半期連結累計期間 (自 令和5年1月1日 至 令和5年9月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	衣料事業	インテリア 産業資 材事業	エレク トロニク ス事業	ファイ ンケミ カル 事業	不動産 事業	計		
売上高								
顧客との契約から生じる収益	5,385	5,356	1,145	843	46	12,776	430	13,207
その他の収益	3	64	—	—	633	701	—	701
計	5,389	5,421	1,145	843	679	13,478	430	13,909

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車教習事業、ヘルスケア事業等が含まれております。